

平成26年5月27日

杉並区議会議長  
大泉 時男 様

災害対策特別委員会  
委員長 鈴木 信男

### 災害対策特別委員会活動経過報告書

災害対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 活動年月日

平成26年 2月27日 報告聴取

#### 2 活動経過

##### (1) 3月11日の取り組みについて

東日本大震災から3年を経過するにあたり、尊い教訓を語り継ぐとともに、首都直下地震に備え、地域防災力向上を図るため、3月11日に式典及び同時開催イベント並びにシェイクアウト訓練を実施することのこと。

式典は「3・11を忘れない」と題し、セッション杉並ホールで実施することのこと。内容は、「過去の震災に学ぶ ～自助と共助のまちづくり～」と題した講演や、小中学生による防災にかかわる作文コンクール、南相馬市からのビデオメッセージ等を予定していることのこと。

また、式典との同時開催イベントについては、防災まちづくりのパネル展示や東日本大震災写真展等を実施することのこと。

シェイクアウト訓練については、午前11時に震度6強の地震が発生したとの想定で、安全確保行動を行うことのこと。

なお、午前11時の訓練時刻には、杉並区防災行政無線及び災害情報メールにより、訓練開始の合図を送ることのこと。

##### (2) 荻窪駅前滞留者対策訓練の実施について

2月28日に、震度6強の首都直下地震が発生したとの想定で、荻窪駅周辺の帰宅困難者対策として、杉並区、鉄道事業者、駅周辺事業者及び警察等で構成する荻窪駅前滞留者対策協議会が駅前滞留者対策訓練を実施することのこと。

具体的な訓練項目としては、情報伝達・収集訓練及び駅前滞留者誘導訓練並びに駅

前滞留者受入・物資支給訓練を実施するとのこと。

情報伝達・収集訓練では、杉並区災害対策本部と対策協議会を構成する公共機関や警察等との間で、情報伝達や収集の訓練を行うとのこと。駅前滞留者誘導訓練では、対策協議会構成機関が相互連携し、駅前滞留者を一時滞在施設まで避難誘導すること。避難誘導が終わった後に、一時滞在施設で駅前滞留者の一時受入と物資の支給訓練を行うとのこと。

参加者は上荻、天沼、荻窪地区町会連合会、対策協議会を構成する事業者等約100名を見込んでいるとのこと。

(3) 杉並区地域防災計画（平成25年修正）の策定について

平成25年11月に公表した「杉並区地域防災計画（平成25年修正）（案）」について、区民等の意見提出手続きを実施し、その結果等を踏まえて一部を修正し、杉並区地域防災計画を策定したとのこと。

区民等の意見提出実績は、個人2名、1団体の総数3件、延べ項目数は15項目とのこと。内容としては、保育園の防災対策が3件、要援護者支援の取り組みの具体化が6件、災害時における障害者への支援が6件とのこと。

意見をもとに修正を行い、修正後の計画（案）は、平成25年12月20日の防災会議で了解を得たとのこと。

今後、3月1日には広報、ホームページ等で計画を公表し、3月下旬には、冊子を配布するとのこと。

(4) 大雪対応について

2月8日から9日にかけての大雪及び2月14日から15日にかけての大雪について報告があった。

まず2月8日から9日の大雪は、8日午後11時に杉並土木事務所で23センチの積雪を観測したとのこと。通常の区道等の除雪に加え、東京都知事選挙の投票所周辺の除雪も必要のため、土木担当部職員、危機管理室職員、管理職員に委託業者を加え、合計129名の除雪体制を組んだとのこと。

区民からの除雪要望については、15件寄せられたとのこと。

次に、2月14日から15日にかけての大雪については、15日午前4時に杉並土木事務所で38センチの積雪を観測したとのこと。土木担当部職員、危機管理室職員、委託業者により合計67名の除雪体制を組んだとのこと。

区民要望は除雪が13件、倒木の片づけが29件、その他道路排水等の要望が寄せられたとのこと。

なお、大雪の被害としては、区立施設の雨漏りや倒木等のほか、ごみ収集の遅れやすぎ丸の遅れ、運休があったとのこと。

以上のとおり、4件の報告を聴取し、質疑応答を行いました。

以上